

柏原市議会議員

ムダのない、かしこく活力のある柏原市を作りたい、めざすのはスマートシティ柏原

山口ゆか

柏原力UP ↑

Vol.2
H26.7

活動報告

日頃の活動報告はブログ・Facebook で配信中

山口ゆか

検索

昨年9月の選挙で初当選させていただき、議員となり早9ヶ月がたちました。市民のみなさまのご協力をいただきながら日々議員活動に励んでおります。

10月議会(会派代表)、12月議会(個人)、3月議会(会派代表 登壇:山口ゆか)、そして6月議会で2回目となる個人質疑質問をさせていただきましたのでご報告いたします。

地盤・看板のない一般市民であった私の市民目線で何が必要で何がムダであるのか、女性目線また母親目線できめ細やかな政策の実現のため、みなさんの声に耳をかたむけながら日々市政に取り組んでまいりますので、今後ともご支援ご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。



ごあいさつ

議会の動画は <http://www.gikai-web.jp/dvl-kashiwara/2.html>



ラストキャンプファイヤー

青少年教育キャンプ場の閉鎖とともに今まで行われてきた子どもたちのキャンプでの経験と自然

のなかでの笑顔が失われてはいけないと思い、野外宿泊研修を継続していただくよう要望し、今年も他市(八尾市)の施設で行われることになりました。

保育コンシェルジュ

子育て?????

柏原市ではどんな愛称がいいですか?

保育コンシェルジュとは——
保護者それぞれのニーズや状況に最も合った保育資源・保育サービスの情報提供をしてくれる保育専門の相談員のこと

山口ゆかが考える 保育サービス

保育について悩みを抱えている新米お母さんや他市から移り住んで不安なお母さんのために保育コンシェルジュの存在が必要であるとする。他市の取組は窓口対応型の保育コンシェルジュばかりであるが、柏原市では窓口対応にとどまらず、訪問支援でお母さんの心の支えになる子育て支援を提案する。

平成26年6月議会 山口ゆか 個人質問の内容

社会教育課

新しく設置予定の自然体験学習施設

Q 設置目的と施設利用の対象者について、また運営事業計画としてワンちゃんコンテストや昔遊び体験会、紙ヒコーキ大会、国際交流会など構想段階でたくさんの事業を計画しているが、どのように運営していく予定か伺う。

A 設置目的は自然環境を生かした生涯学習の場を提供することであり、**幼児から高齢者まで**の年齢層を施設利用の対象者に設定しており、**とくに子育て世帯**をターゲットにして力を入れていく。運営事業については教育委員会が中心となり事業展開する。

Q 青少年教育キャンプ場の代替施設となりうるのか。

A 代替施設ではなく、**新たな生涯学習施設**である。

Q 子育て世帯をターゲットにしているのであれば、子ども課や保育関係からの情報提供が必要と考えるがいかがか。
また、**平日利用の集客が課題**であると推察するが現段階の方向性は

A 遊具については保育士や子ども課の意見を参考に選定し、平日については親子体験型の企画などを今後検討していく。

要望 青少年の野外宿泊研修として、学校などの教育機関や子ども会などの社会教育団体がこの施設を利用し集団での宿泊研修を行うとなると規模的に厳しいのではないかと。だからこそ、**他市の施設との連携**を図り、利用目的のすみ分けをして、青少年の教育キャンプは他市の施設を利用し、他市の子育て世帯の自然体験学習はこの施設を利用してもらうことに尽力を。そのために利用条件の緩和や利用手続きの簡素化が重要・急務であるとする。このことがこの自然体験学習施設の設置意義につながると考えるので強く要望する。

こども政策課

子ども・子育て支援新制度

Q 平成27年4月からスタートする子ども・子育て支援新制度について市の取組を伺う。

A 2つの事業を連携していく。『こんにちは赤ちゃん事業』で一定の支援が必要と判断された家庭に『養育支援訪問事業』により家庭児童相談員が継続的に訪問し、子育て中の不安の解消を図るもの。

Q 『養育支援訪問事業』という名前は堅苦しいが『子育てリンクワーカー』『育すば一と』など親しみのもてる名前はいかがか。また、相談員はどのような人を配置するのか。

A ネーミングについては考えたい。相談員は経験豊富な保育士3名を配置、増員も視野に。

要望

4ヶ月までのすべての乳児を訪問する『こんにちは赤ちゃん事業』のときは支援が必要と判断されなくて、4ヶ月を過ぎたあとになかなか歩かなかったり、なかなかしゃべらななったり、友達とよくけんかをしたりと様々な面で不安を抱えることもありうる。事業の拡充をはかり、4ヶ月以降も**こぼれる家庭が出ないよう**心ある子育て支援を要望する。これからの柏原市を支える世代の人口増加のため**子育て世帯が住みたくなるまちづくり**をお願いする。



**ゴミの不法投棄
に対する要望**
集合ゴミ捨て場に収集日以外でもゴミが置かれており近隣の住民の方々の長年の問題の場所でしたが地域のみなさんのご協力でゴミを個別収集に変更していただき現在は不法投棄の看板もなく、まちの美化が保たれています。

総務課

新電力【PPS】 (Power Producer and Supplier)

Q 本年度、新電力に切替えた宮城県登米市では370万円、赤穂市では3480万円削減されたとの中から柏原市における**コスト削減**のための新電力 (PPS) の導入検討について

A 防災拠点としての機能を確保するため安定的な電力供給、電力調達コストの削減の効果が得られることが必要条件である。今後は、新電力を導入している自治体の状況を調査・研究し検討していく。

要望 現在の状況は、新電力は大手電力会社の送電線を使用しており、供給が不足してもバックアップ契約により**自動的に電力供給**される仕組みである。さらに4年～6年後には発送電分離がされます。ますます電力市場は様変わりする。法改正を機に導入を検討し**コスト削減をした分を市民が必要となるところにその予算をあてていただきたい**。12月議会で提案させていただいた公衆無線LAN wi-fiについても6月13日総務省より政府の成長戦略に盛り込まれる見通しであると発表され、今後急激に普及拡大し数年後にはwi-fiがあたり前になると予測する。とともに市民ひとりひとりの通信費の削減も期待できる。何事においても**時代の流れ**を見きわめ、**先がけて準備**し、**ムダのない施策**を実践していくことを要望する。

まちの魅力づくり課

友好姉妹都市イタリア グロッセート市

Q 国際交流事業の内容について

A 本年度はイタリアのグロッセート市（および県）と友好都市連携を結び15周年の節目にあたることから友好訪伊団を派遣し、更なる交流を深め他市との差別化、または柏原市のブランド化を増強していきたいと考える。

要望 グロッセート市とはどんなまちでどんな交流をしているのか市民の方に講座を開いたり情報発信して知ってもらい、この交流を土台に子どもたちの国際交流のかけ橋に、誇れる市になるよう事業展開していただきたい。



グロッセート

山回ゆかコラム

2020年に東京オリピックの開催が決定されていますが、その東京ですらまだ主要駅や空港などでしかWiFiが整備されていません。6月の新聞に総務省が政府の成長戦略に盛り込む見通しを発表したと報じられていました。2020年には今より1000倍のデータ通信量が必要であると言われていました。これから2020年に向けて本格的に始動されると思われまます。

一方、私の考える柏原へのWiFi導入の目的は外国人観光客のためだけではなく、**市民ひとりひとりの通信費削減**につなげるのではないかと考えます。現在、多くのご家庭で家の中にネット回線をひき、尚且つ、スマートフォンなどの端末の通信契約をしておられると思いますが、柏原市内にネット環境が整備されれば、外出中は拠点でWiFi通信し、家では契約しているネット回線を使用し、WiFi通信ができます。**削減された通信費分を他のモノにまわせます。**

WiFi拠点については、すでにWiFiサービスを実施しているお店や駅などの協力や市の公共施設に設置します。

「柏原フリーWiFi」というキャリアフリーのシステムを構築することを強く要望します。

市民サービス、災害時の連絡ツール、観光客の流入促進の一貫として公衆無線LAN WiFiを市域に配備し、柏原市内どこでもネットが繋がる環境づくりをめざします。

学校教育指導課

施設一体型の小中一貫教育と学制改革

Q 施設分離型の小中一貫教育の現状と今後について。

A 施設分離・連携型の小中一貫教育ではあるが、小中学校の生徒間の交流をしたり教員間で意見交換や課題への取組ができるようになってきた。今後の課題としては、中学校区が一体となり子どもたちの育成の取組をめざす。

Q 国では『義務教育制度』(仮称)の制度化を検討するとあるが現状の「6・3」制からの学制改革について考えを伺う。

A 制度化については、本市の小中一貫教育の取組の妥当性や有用性が認められうれしく思う。詳細が定まりしだい本市の教育に有効活用できるか吟味し検討していきたい。

要望 小学校、中学校の施設が分離型であるがゆえに何かと制限があるのではないかと。施設一体型の小中一貫教育を推奨し提案する。

1年～4年までは基礎学力教育・道徳情操教育を、第二次性徴にあたる5年～中学校までの5年間で応用力を中心に学力向上はもちろんのこと、社会と自分との関わりかた・夢への挑戦を市が支援するような教育環境の充実を私はめざす。

学校教育学務課

4月から始まった中学校給食

Q 導入から2ヶ月たつ中学校給食について問題点等はあるか。

A 大きな問題はないが、量については半数以上の男子は少なく感じ半数以上の女子は多いと感じているというアンケート結果が出ている。しばらくは学級内で個人差に応じ工夫・調整していく。

Q 今までは各家庭から持ってくるお弁当で**量の調節**ができたが給食ではそうはいかない。**家庭からの補食**についてはどう考えるか。

A 残菜が増えたり食中毒が発生した場合原因特定が難しい。府内でも認めている学校はないので補食については今のところ難しい。

要望 食べ物を残すという残菜については指導範囲内であるし、補食による食中毒はお弁当持参のとき同様特定ができる。第二次性徴の成長が著しい時期であるので、再度半年後などにアンケート調査をするなどして量について分析研究をお願いする。他市に事例がないのは理由にならず、本市が補食認定モデル校となる努力を。

山口ゆかが
今後
取り組んで
いきたいこと

議会改革！

学制の見直しを！
「6・3」制から
「4・4・1」や
「4・5」制へ

東西道路の整備を！
川や線路で分断され
ている柏原市内に東
西道路の整備を

WiFiを身近に

ひとりの通信費削減につ